



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSACA CENTENNIAL

C/O OSACA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSACA, JAPAN

December 2003 No.6
 Chartered July 20, 1982

標語 Y'S SLOGANS (2003~2004)

クラブ会長：『個性を認めて共に前進』
 国際会長：“Be Agents of Change”『変革の担い手となろう』
 アジア会長：“New thinking, New Action”
 『新たな思考で、新たな行動を！』
 西日本区理事：『未来に架ける橋』
 中西部長：『分ち合い 共に歩むワイズ』

クラブ役員 Officers

会長：谷川 俊一
 副会長：松浦 孝次
 “ ”：石津 雅人
 書記：山田 孝彦(主)
 “ ”：栗山 佳三
 会計：三浦 直之(主)
 “ ”：鎌田 史朗
 ネット会長：松浦 和子
 Y連絡職員：浜野 昌保

月間強調テーマ：『EMC - M』

€€€€ 12月の聖句 €€€€

【 Biblical Message of December 】

初めに言(ことば)があった。言は神と共にあった。
 言は神であった。

言は肉となって、わたしたちの間(あいだ)に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。ヨハネは、この方(かた)について証しをし、声を張り上げて言った。「わたしのあとから来られる方は、わたしより優れている。わたしよりも先におられたからである」とわたしが言ったのは、この方のことである。」わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。

(ヨハネによる福音書 第1章 1節及び14~18節)

€€€€ Attention Please €€€€

1. 12月例会の開催日について

第1例会は 17日(第3水曜)です。納会を兼ねますので、ちょっと豪華な晩餐です。ケーキ、ソフトドリンク1杯付。会費は4,000円。みなさん「今年のチョットよい話」をご用意下さい。
 第2例会は 第2水曜(10日)に繰上っています。

2. 土佐堀YMCAクリスマス 12月6日(土)17時から開催。

【クラブ統計 Statistics】 下欄()は、うち広義会員を表わす

2003年11月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21(1)名	メン	15(1)名	8名	11月:切手 730 gr.	11月: 16,500円
例会出席 16(1)名	メネット	6名	名	現金 3,500円	(03年7月~03年11月の)
うちメークアップ 1名	ビジター	名	名	(03年7月~03年10月の)	累計: 228,100円
	ゲスト	4名	名	累計:切手 3,725 gr.	(除く、クリスマス献金、
出席率 75.0%	合計	25(1)名	8名	現金 13,000円	オークション、記念献金)

€€€€ 12月の例会 €€€€

【 December Club Meeting 】

○ 12月 第1例会 [納会]

日時:2003年12月17日(水) 18:30~20:30
 場所:東洋ホテル2階 寿の間

司会 田中 穰二君

1. 開会点鐘 谷川 俊一 会長
2. ワイズソング ー 同
3. ゲスト紹介 谷川 俊一 会長
4. 聖句朗読 黒田 巖之君
5. 今月のテーマ 富中 彬君
6. 日々の糧・晩餐 ー 同
7. 懇親タイム ー 同
 「今年のチョットよい話」(全員のスピーチ)
8. インフォメーション 各担当
 YMCAニュース 連絡主事
9. お誕生日祝い・ニコニコ献金 ー 同
10. 閉会点鐘 谷川 俊一 会長

○ 12月 第2例会

日時:2003年12月10日(水) 18:30~20:30
 場所:大阪YMCA土佐堀館9階

*12月例会当番 第3班(藤原、中村茂高、黒田、田中)

*12月お誕生日 Happy Birthday!
 黒田君2日、谷川俊一君5日、浜野メネット
 17日、中村隆幸君26日、

パウロによって地中海沿岸に伝えられたキリスト教はギリシャに入ってからギリシャ哲学に影響を受け、その表現も、今回の聖句に見られるように哲学的な色彩を帯びるようになりました。

ギリシャ哲学では真理をロゴスという言葉で表現していますが、今日の聖句の中の「言」はロゴスであり、「道」であり「真理」と理解されております。

「いまだかつて、神を見た者はいない」ということはその通りであって、今も、また将来もいないでしょう。しかし、神はその意志を人間に伝えるためにこの人間の歴史の中に、その独り子であるイエスを派遣して、イエスの言葉や行為で、神の心を理解させようとしたのです。そのことを説明しているのが今日の聖句であり、それはまたクリスマスの本当の意味を端的に言い表わしている言葉です。

イエスの生涯は、十字架に表わされているように人類に対する徹底的な「愛」に貫かれたものです。

その神の愛に触れながら今年もクリスマスを迎えましょう。

(聖句選 コメント: 黒田 聡之)

11月 第1例会

【Report of the November Club Meeting】

(11月19日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル3階)

○ 11月は、六甲山小学校校長の高光正明さんをゲストスピーカーに迎えての例会。丸尾欽造さん(河内クラブ)、池田勝一さん(六甲山YMCA所長)、中島 茜さん(学生YMCAリーダーOB)も出席され、総勢25名。

○ 富中 彬メンの司会のもとに、栗山佳三メンの聖句朗読のあと、浜野昌保メンから11月のテーマ「Public Relations/Wellness」について、広報活動の大切さ、スピリット・マインド・ボディのバランスのとれた成長をはかること(単なるフィットネスではない)がポイント、との解説がありました。

○ 高光正明さんは、元神戸YMCAの体育リーダーで、自然と親しむ野外活動が大好きな人。六甲山小学校の校長として、子供たちをめぐるさまざまなことについて語られました。

着任時は児童が11人でしたが、昨年から「小規模特認校」として市内在住の児童を受入れて、いま児童27人、教職員11人(ほかに非常勤3人)。

学年を越えて一緒に学び遊ぶ、先生と生徒全員でとる屋敷タイム、自然に恵まれた地の利を生かした体験教育、地域からの豊富なバックアップなど、小規模校ならではの教育環境です。毎年5月には、六甲山YMCAで、全児童が参加してのキャンプも実施されています。

当節 都市部では考えられない素晴らしい教育環境だと感じ入りました。とくに上級生が下級生に範と思いやりを示し、下級生が上級生を信頼し慕っているという姿は、かけがえのないものですね。

♪

♪ ○ ゲストの丸尾さん、池田さん、中島さんからは、それぞれのイベントの案内があり、来るべきクリスマスと年末を迎えるにふさわしい内容でした。(松浦孝次 記)



(六甲山について熱く語られる 高光正明さん)



(「土佐堀クリスマスにぜひ来て下さい」と中島 茜さん)

大阪 YMCA

第9回チャリティーラン：3チーム出場しました

松浦 孝次

11月9日(日) 浜寺公園で開催されました。小雨がそぼふるあいにくの天気でしたが、沢山の参加メンバーが元気にランニングに挑戦しました。300万円を上回る支援金が寄せられ、心身に障がいのある子供たちのために使われます。

わがクラブから3チームをエントリー。2チームは、富中メンの采配のもと、最高齢(?)の山田メンを筆頭に、坂本メネット、石津・新保・中村茂高・松浦メンが走り、山崎・市川・立良・老色のみなさん(関西テレビ青少年育成事業財団など)が賛助出場。宣言タイム制で「流れ星」が6位、「おほろ月」が10位に入りました。

もう1チームは、生野高等聾学校の生徒さんが走り、順位制で見事3位に入賞。

また運営ボランティアとして、三浦・谷川俊一・浜野メンが奉仕しました。

そして注目の抽選会では、わがクラブの福永嘉彦メンが見事、1等賞の香港往復航空券を獲得しました(ただし、ご本人は辞退されましたが)。写真は6面に掲載。

♪♪ 箕面—勝尾寺ワイワイウォーク ♪♪

全員・全コース・完歩万歳！！

EMC委員長： 畠中 彬

第1回のセンテニアル・ワイワイウォークは11月24日に実施された。

阪急箕面駅に9時30分集合にもかかわらず、9時過ぎにはほぼ全員が集合完了。参加者の意気込みは十分だが、天気が気になる。当日急に参加できなくなった人も数人いたが、谷川会長はじめ、隅田夫妻、栗山、畠中、三浦、山田のメンバーに、なかのしまクラブの松下さんもご参加いただき、総勢8人のワイワイグループで出発。

紅葉を楽しみながら滝道を一路箕面の滝へ、そこからドライブウェイを通過してビジターセンターへ、そこからまた山道へ入り、曲がりくねった道を登ったり下ったりすること数十分で、遠くから勝尾寺の鐘の音が「ゴーン」と聞こえてきた。やっと勝尾寺かと喜んだがそこからがまた遠い。

いつまでも鐘の音は近づかない。しかし山道がんばった甲斐があって、無事勝尾寺の裏口から無料で入場。勝尾寺の境内で秋の陽光と紅葉を浴びながら全員で昼食。帰路は全く別の山道をたどって箕面へ。残念ながら箕面の滝あたりから雨になる。雨に煙る紅葉をながめながら、ゴールの箕面駅に15時30分到着。全員全コース完歩ご苦労さんでした。

第2回は来春、京都の山科—大文字山—銀閣寺コースを計画することとした。



(ワイワイウォーク、大いに楽しみました・・・上下とも)

土佐堀YMCAカーニバル

11月3日(祝・月)大阪YMCA土佐堀館で開催。850人の人たちが参加しました。

センテニアルクラブからは、15名が参加しました。新保メンが場内清掃などの運営を奉仕。「バザー」(10階)を松浦・三浦・山田・石津・中村茂高・福永・畠中・浜野メンと松浦メネットが担当、約3万8千円を売り上げました。

「ポップコーンの販売」(10階)を中村幸枝・中村珠美・坂本・隅田・福永メネットが奉仕をし、約1万円を売り、4,800円の収益をあげました。

収益金はクリスマス献金などに用いられます。



(「ポップコーンいかがですか」)



(バザー：今年も留学生たちが沢山買ってくれました)

土佐堀YMCA祈禱会

世界YMCA/YWCA合同祈禱週にあたって、土佐堀YMCA祈禱会「共に生きる」が、11月14日(金)夕べ、土佐堀館10階でもたれました。当クラブからは、福永・山田・松浦メンが出席。

第1部の祈禱会では、日本キリスト教団大阪教会・岡村恒牧師の奨励「神の前で小さな者として」、第2部では杏野 央記さんの指導による「ゴスペルを歌おう」で“Happy days”をマスターしました。

On November 19th, the club's November meeting was held at the Toyo Hotel with a total of 25 Y's men, Y's menettes, and guests in attendance.

With its emphasis on "Wellness activities" this month, Y's man YASUMASA HAMANO, director of the Osaka YMCA, briefed the meaning and the purpose of these activities.

The highlight of the meeting was a story about Mt. Rokko Elementary School by Mr. MASAOKI TAKAMITSU, principal of the school in Kobe, which is located at the top of Mt. Rokko, standing 795 meters above the sea level.

Although the location of the school is separated from the center of the city of Kobe, 27 school children are enjoying their school life in the blessed environment with 13 teaching staff, Mr. TAKAMITSU said. Since he used to be a YMCA athletic volunteer leader, he introduced many outdoor programs at the school including the summer camp program at the Mt. Rokko YMCA campsite.

What touched us most was the story that both upper and lower class children help each other with ties of trust and affection mounting through-out their school life. We wished many venturesome programs introduced by Mr. TAKAMITSU would prevail among other schools in Japan.

Sam Fujiwara introduced some of the news of the Nuuanu Club activities from their club bulletin, including travel report on Hiranaka Families to Japan written by Ms Mae Hiranaka, thus encouraging our members to join the Hawaii regional convention next May.

Kan Tanikawa reported his visit to Hong Kong and his reunion with the Bauhinia Club members.

IBCクラブニュース

IBC・DBC委員長：藤原 正巳

"Aloha from Hawaii":

メー・ヒラナカさん、ハワイヌアヌクラブから

○ヌアヌYMCAでハロウィーンのボランティア活動実施

ヌアヌYMCAのお化け屋敷から、恐ろしい金切り声が増えてきました。鬼や魔女などに扮したクラブのボランティア達の声です。しかし、すぐに彼等の顔は幸せそうな笑顔になり、子供達にたくさんのキャンディーを配り始めました。♂

♂ ○11月～12月の行事予定—11月、12月は大変多忙な月です。

①夕食例会はヒラナカさん宅で開催。ヌアヌYMCA 青少年担当副主事、ケオラ・タニグチさんの入会式が予定されています。

②11月23日の日曜日は、第25回「Turkey Swim」に参加のため、会員は午前6時にアラモアナパークに集まり、午後と夕方には200人のお年寄りを招待して感謝祭のディナーのホストをします。

③12月6日には「Honolulu City Light Parade」に参加します。会員はサンタクロースに扮してキャンディーなどを配ります。

"Bauhinia News"

香港Bauhiniaクラブ・プリテンから抜粋

○10月例会は、24周年記念例会として10月19日に開催され、11人の会員と20人のゲストが出席しました。

○12月は、10日午後7時から、香港地区11クラブによる合同例会が開催されます。

●谷川寛メンは、11月8日香港訪問中に、同クラブElsie Wooさん（ワイズ香港地区理事）ほか8名の会員と昼食し、交流を深められました。

☆☆☆☆☆☆☆☆

「関西のちの電話」バザー

暖かい小春日和の11月1日(土)、毎年恒例のバザーが、十三の本部で開催。センテニアルクラブのメンバーは、新鮮な果物と、かばん・袋類の販売を担当しました。隅田メネット、山田・栗山・三浦・石津・福永・中村茂高・谷川俊一・松浦メンの9人が筆仕事をしました。



(「関西のちの電話」バザー：果物、かばん、袋類を売りました)

お知らせ

1. 大阪・土佐堀 YMCA クリスマスのつどい

12月6日(土)。大阪教会での礼拝の後、心にしみわたる歌を聞かせてくれる沢知恵さんのチャリティーコンサートです。

下記YMCAニュースを参照されたし。

2. 中西部合同新年会

日時：04年1月10日(土) 10:30~14:00

場所：大阪厚生年金会館 参加費は8,000円

3. 中西部合同メネット会

日時：04年3月6日(土)

場所：大阪YMCA会館

プログラム：桂 吉弥さんのお断を中心に

* 坂本千春・中西部メネット主催が主宰します。ホストクラブはセンテニアルクラブ。ご予約下さい。

11月BFニュース

[Report of the Brotherhood Fund in November]

BF委員長：栗山 佳三

◇現金提供者：栗山、谷川寛、山田、中村隆君

◇切手提供者：山田、中村隆、谷川俊、谷川寛、

黒田、栗山、鈴木、隅田、三浦君

*今月の殊勲賞 山田君 265gr

11月 第2例会

[Report of the November Club Meeting]

(11月26日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA)

副会長：石津 雅人

1. 12月第1例会プログラム

第1面のとおり。全員がスピーチをする。昨年同様、会費4000円程度で晚餐を行なう。藤原メンが東洋ホテルと交渉をする。

2. 協議事項及び連絡事項

(1) アメラジアン04 フレンドシップキャンプを行なう計画について

2004年8月25日から28日、沖縄のアメラジアン、奈良の在日外国人、豊田市の日系ブラジル人と日本人(一般公募)の子供たちの3泊4日キャンプを行なう。約250万円の費用がかかる。一般からの参加費用50万円、関西テレビ青少年育成事業団から100万円、当クラブから100万円の予定。

この計画をクラブの事業として会員の賛同が得られれば101万円のアメラジアンファンドとしてクラブメンバーから集める。

(2) ミャンマーへの支援について

支援金10万円の用途に関してYMCAに一任し、クラブとして結果報告を貰う。今回は現地に現金を渡し文房具などの購入を行なった。

(3) なかのしまクラブのチャリティーコンサート(絵本作り支援チャリティ)について

04年1月24日(土) 江崎昌子ピアノコンサート

チケットは1,500円

YMCA ニュース

大阪YMCA総括本部 浜野 昌保

クリスマスが待ち遠しい日々ですが、皆様いかがお過ごしですか。

さて、今年も大阪YMCAでは「クリスマス献金」の季節を迎えました。クリスマス献金は、国際協力活動や地域社会奉仕活動に用いさせていただきます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

★土佐堀クリスマス会

日時：12月6日(土) 午後5時~9時

場所：日本キリスト教団大阪教会及び大阪YMCA会館

内容：

第1部：17~1745 クリスマス礼拝(大阪教会)

18~1830 ティーパーティ(大阪教会) 会費300円

第2部：1930~2100(1900開場)

沢知恵クリスマスコンサート(大阪YMCAホール)

チケット代 一般2000円 学生1000円

* 第40回日本レコード大賞アジア音楽賞受賞者である

沢知恵さんのピアノ弾き語りコンサートです。

★第128回大阪YMCA早天祈祷会

日時：12月19日(金) 午前7時30分~8時30分

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

証し：成田うし氏(日本キリスト教団福助教会伝道師)

問合せ：大阪YMCA TEL06(6441)0894

★シニアのためのハワイツアー

日時：2004年3月7日(日)~13日(金) 4泊6日

行先：ハワイ州オアフ島

参加費：170,000円

内容：ハワイの大自然を体験する様々なプログラムおよび現地市民とともに交流プログラム。

ツアーには6名に1人の割合でツアーリーダーが

同行し、医師または看護師も同行します。

問合せ：みなとYMCA TEL06(4395)1001



[Messages from the Club Members]

ゲストからのメッセージ

○大都会の真ん中でありながら『寺子屋』で学ぶような、そんな充実したひとときでした。洗練された大人の方々のかもし出す例会の味わいは 格別でした。
(大阪河内クラブ 丸尾 鉄造)

“ごぶさだ”メッセージ

○11月は時間の余裕なく、欠席させていただきました。皆様によろしく。
(永島 寧)

会員からのメッセージ

○六甲山小学校のことを知らなかったのですが、新しく知ることができてよかった。
(石津 雅人)

○六甲山小学校の高光校長先生のお話を聞きました。六甲山の自然の中でのびのびと育つ子供たちの話をうかがって奈良の片田舎で過ごした小学生時代を思い出しました。これからも大切にしていきたい小学校ですね。
(栗山 圭三)

○爽秋の候、皆様にはいよいよご健勝のことと拝察いたします。
(黒田 徹之)

○六甲山の山の小学校の話は楽しく、わたしは六甲山が大好きなので益々興味関心を持ちました。もっと近くて行きやすかったらいいのになあ。
(坂本 千春)

○六甲山小学校校長 高光先生のお話しは面白かった。こんな先生がもっと増えると良いと思われる。
(鈴木 謙介)

○六甲山小学校、六甲YMCAと六甲山の様子をいっぱいうかがい素晴らしい紅葉と自然にひたりたい気持ちになりました。楽しいお話ありがとうございました。
(隅田 恵子)

○六甲山小学校の貴重なお話し有難うございました。
(田中 穠二)

○ワイズメネットと一緒に参加しました。六甲山小学校の話、楽しく聞きました。大変ユニークな学校で私ももう一度入学したいと思いました。
(谷川 寛・有美子)

○今日はゲストが多く、活気のある例会でした。チャリティーラン、土佐堀カーニバルは疲れさまでした。
(中村 茂高)

○自然の中で育った子らは心身ともに強いと思います。大人になってからが本当に楽しみです。
(中村 幸枝)

○先月は、業務のため欠席で失礼致しました。皆さんの素晴らしいスピーチを聞けず残念でした。これからも可能な限り休まず出席しますのでよろしくお願いいたします。
(浜野 昌栄)

○チャリティーランの賞品を辞退したためご迷惑をお掛けしたことを誠に申しわけなくお詫言いたします。
(福永 嘉彦・滋子)

○六甲山小学校の「自然と共に生きる」という教育目標はとて素晴らしいと思いました。高光先生のお話し楽しく聞かせていただきました。
(松浦 和子)

○六甲山小学校の話は、日頃なかなか聞けるものではないだけに面白くうかがいました。
(松浦 孝次)

○元気になったらまた手術と、本当に思いもかけない年になりましたが、今日から再度の出発です。あまりケガや病気が続くので鎮守の神にお願いに行ってきました。靈験あらたかな神様のご加護で、今後は皆さま同様に健康なワイズライフが送れるものと確信しております。
(藤原 正巳)

○バザー、チャリティーランで秋のシーズンの終わり、今度はクリスマスの季節ですネ。YMCA:Y's:教会:コーラス・・・とこれから何回クリスマス行事をやるのか・・・?この一年、健康を与えられて感謝です。
(山田 孝彦)

○六甲山小学校のお話し面白かったです。「六甲山」という語にはあこがれのようなものを感じます。
(三浦 直之)

個人消息

○黒田 義之メンは、負傷を癒され、久しぶりに11月例会に出席されました。安心しました、よかったです。

○藤原 正巳メンは、メッセージにあるようにしばらく入院加療されていましたが、11月中旬に無事退院、11月例会に元気な姿を見せていただきました。

○中村幸枝メネットは、11月例会に出たあと、脚の治療のため、しばらく入院治療されます。ご快復を心からお祈りします。



(チャリティーランに参加したわがメンバーたち)

《 編集後記 》

● 六甲山小学校のストーブの火入れ式は、冬到来を告げる「冬の風物詩」として名高く、今年は霜降 10月24日に行われたとのこと。しかし今年は気候が温かく、11月例会(19日)の時点ではまだ初氷が見られないそうです。地球温暖化の影響かな? と思ってみたりします。

先生と児童全員が、また地域も一体となって教育を進める姿は、この時節 うらやましい限りです。

● プリテン11月号の訂正です。お詫言いたします。
1面の 発行通し番号 “2003No.1” ⇒ “No.5”
1面の 在籍会員 “22(1)名” ⇒ “21(1)名”
2面の 見出し “9月第1例会” ⇒ “10月第1例会”
(松浦 孝次)